

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年2月7日

【四半期会計期間】 第19期第1四半期(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

【会社名】 日本ファルコム株式会社

【英訳名】 NIHON FALCOM CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 近藤季洋

【本店の所在の場所】 東京都立川市曙町二丁目8番18号

【電話番号】 042(527)0555

【事務連絡者氏名】 取締役 中野貴司

【最寄りの連絡場所】 東京都立川市曙町二丁目8番18号

【電話番号】 042(527)0555

【事務連絡者氏名】 取締役 中野貴司

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第18期 第1四半期累計期間	第19期 第1四半期累計期間	第18期
会計期間		自 2018年10月1日 至 2018年12月31日	自 2019年10月1日 至 2019年12月31日	自 2018年10月1日 至 2019年9月30日
売上高	(千円)	558,664	477,445	2,454,128
経常利益	(千円)	375,954	302,308	1,472,367
四半期(当期)純利益	(千円)	261,384	209,777	1,006,163
持分法を適用した場合の 投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	164,130	164,130	164,130
発行済株式総数	(株)	10,280,000	10,280,000	10,280,000
純資産額	(千円)	5,324,051	6,155,169	6,068,748
総資産額	(千円)	5,617,634	6,354,528	6,592,577
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	25.43	20.41	97.88
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
1株当たり配当額	(円)			12
自己資本比率	(%)	94.8	96.9	92.1

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益につきましては、関連会社が存在しないため記載しておりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第1四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当社はコンテンツメーカーとして、オリジナリティあふれるゲームコンテンツ及びサービスの創出を行い、その魅力を様々な分野・プラットフォームを通じて世界中のお客様にお伝えすることに努めております。

当第1四半期累計期間の製品部門におきましては、累計販売台数が1億600万台を突破した据え置き型ゲーム機PlayStation4向けに、「イース セルセタの樹海：改」（2019年5月発売）や「イース -Lacrimosa of DANA-（ラクリモサ・オブ・ダーナ）スーパープライス」（2019年6月発売）のほか、「イース」シリーズ最新作「イース -Monstrum NOX-（モンスターム・ノクス）」（2019年9月発売）を販売しました。

また、据え置き型ゲーム機PlayStation4向けゲームソフト「英雄伝説 零の軌跡：改」を2020年4月に、同じくPlayStation4向けゲームソフト「英雄伝説 碧の軌跡：改」を2020年5月に発売する予定です。なお、累計販売本数450万本を突破している「軌跡」シリーズ最新作「英雄伝説 創（はじまり）の軌跡」につきましても鋭意制作中です。

その結果、製品部門の当第1四半期累計期間の売上高は32百万円（前年同期比67.8%減）となりました。

ライセンス部門におきましては、2019年10月に携帯型ゲーム機PlayStationVita向けゲームソフト「英雄伝説 零の軌跡 Evolution」「英雄伝説 碧の軌跡 Evolution」の繁体字中国語版及び韓国語版を発売しました。また、据え置き型ゲーム機PlayStation4向けに「英雄伝説 閃の軌跡」の英仏語版を、同じく2019年10月に発売しました。その他、旧タイトルのPCゲーム英語版ダウンロード販売やオンラインストーリーRPG「英雄伝説 暁の軌跡」、Nintendo Switch向け「イース -Lacrimosa of DANA-（ラクリモサ・オブ・ダーナ）」、据え置き型ゲーム機PlayStation4及びPC向けゲームソフト「東京ザナドゥeX+（エクスプラス）」英語版や「イース オリジン」日本語を含む多言語版のほか、「ラングリッサーモバイル」などのゲームタイトルとのコラボレーション展開を進め、ユーザー層の拡大を図りました。

2020年2月には、据え置き型ゲーム機PlayStation4向けゲームソフト「イース -Monstrum NOX-（モンスターム・ノクス）」繁体字中国語版及び韓国語版を、2020年3月には「英雄伝説 閃の軌跡」英仏語版をPC向けに発売する予定です。

その結果、ライセンス部門の当第1四半期累計期間の売上高は444百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は477百万円（前年同期比14.5%減）、営業利益は300百万円（前年同期比19.9%減）、経常利益は302百万円（前年同期比19.6%減）、四半期純利益は209百万円（前年同期比19.7%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(総資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、主に現金及び預金が287百万円増加したことに対し、売掛金が489百万円減少したことにより6,354百万円（前事業年度末比3.6%減）となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は、主に買掛金が98百万円減少したこと、未払法人税等が145百万円減少したことにより199百万円（前事業年度末比61.9%減）となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、配当金の支払い123百万円があったことに対し、四半期純利益を209百万円計上したこと等により6,155百万円（前事業年度末比1.4%増）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期累計期間における研究開発活動により発生した金額は、106百万円であります。なお、当第1四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	34,800,000
計	34,800,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年2月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,280,000	10,280,000	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数は100株でありま す。
計	10,280,000	10,280,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年10月1日～ 2019年12月31日		10,280,000		164,130		319,363

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

当第1四半期会計期間末現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,278,100	102,781	
単元未満株式	1,700		
発行済株式総数	10,280,000		
総株主の議決権		102,781	

## 【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 日本ファルコム株式会社	東京都立川市曙町2-8-18	200		200	0.00
計		200		200	0.00

(注)上記のほか、単元未満自己株式数49株を所有しております。

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における、役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第1四半期累計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

## 1 【四半期財務諸表】

## (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,586,537	5,873,621
売掛金	728,053	239,016
製品	2,926	1,161
原材料	1,083	436
その他	16,378	5,764
流動資産合計	6,334,979	6,119,999
固定資産		
有形固定資産	3,440	4,215
無形固定資産	927	883
投資その他の資産	253,230	229,429
固定資産合計	257,598	234,528
資産合計	6,592,577	6,354,528
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	107,828	9,533
未払法人税等	218,569	73,026
賞与引当金	30,000	3,750
その他	167,431	113,048
流動負債合計	523,829	199,358
負債合計	523,829	199,358
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	164,130	164,130
資本剰余金	319,363	319,363
利益剰余金	5,585,556	5,671,977
自己株式	300	300
株主資本合計	6,068,748	6,155,169
純資産合計	6,068,748	6,155,169
負債純資産合計	6,592,577	6,354,528



## (2) 【四半期損益計算書】

## 【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)
売上高	558,664	477,445
売上原価	26,787	13,797
売上総利益	531,876	463,648
販売費及び一般管理費	157,482	163,594
営業利益	374,394	300,054
営業外収益		
受取配当金	1,160	1,452
為替差益	-	184
未払配当金除斥益	655	618
営業外収益合計	1,816	2,254
営業外費用		
為替差損	256	-
営業外費用合計	256	-
経常利益	375,954	302,308
税引前四半期純利益	375,954	302,308
法人税、住民税及び事業税	144,961	68,813
法人税等調整額	30,391	23,717
法人税等合計	114,569	92,530
四半期純利益	261,384	209,777

## 【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	485千円	575千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年12月19日 定時株主総会	普通株式	102,798	10	2018年9月30日	2018年12月20日	利益剰余金

(2) 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年12月18日 定時株主総会	普通株式	123,357	12	2019年9月30日	2019年12月19日	利益剰余金

(2) 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

当社は、ゲーム開発・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

当社は、ゲーム開発・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	25円43銭	20円41銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	261,384	209,777
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	261,384	209,777
普通株式の期中平均株式数(株)	10,279,832	10,279,751

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月6日

日本ファルコム株式会社  
取締役会 御中

三優監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	鳥	居	陽	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	森	田	聡	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本ファルコム株式会社の2019年10月1日から2020年9月30日までの第19期事業年度の第1四半期会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第1四半期累計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、日本ファルコム株式会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。